

全身麻酔器ファビウスGS 調査報告

1. 故障状況

2007年8月7日、本装置を使用中に、ベンチレータが止まって、初期設定に戻った。画面が消え、リセットがかかり、IPPVの設定が、初期設定に戻っていた。その事象の付近のエラーログを確認したところ、

V043 Motor LIM STOP
M006 PAW VERY NEG.
M007 VENTPRES. VERY NEG

等しかなく、画面リセットにつながるようなエラーはなかった。

また、ここ数日で、電源スイッチをONにしても電源が入らない現象が発生し、何回か実施した動作確認では、正常動作であった。

8月14日に、電源が入らない旨再度ご連絡をいただき、訪問して現象を確認したところ、電源スイッチをONにしても動作しなかった。スイッチをONにしても、抵抗値が変動し、ONになったり、ならなかったりした。

2. 当該器

製 品 名： ファビウスGS
製 造 番 号： ARUM-0175
ソ フ ト ウ ェ ア： 3.03

3. 調査結果

1) 故障部位の特定

弊社サービス担当者が、装置内部を確認したところ、電源スイッチが不良であることを確認したため、同スイッチを製造元に送付し、より詳細な調査を実施致しました。

2) 製造元の調査結果

ドイツの製造元で、送付した当該電源スイッチを調査したところ、報告された事象が再現することが確認されました。その結果、電源スイッチの切り替え接点の散発的に接触不良を生じたことが原因であることが確認されました。

4. 弊社対応

電源スイッチの系統的な故障は現在までに確認されていないことから、今回の電源スイッチの接触不良故障は、単発故障であると判断させていただいておりますが、弊社サービス担当者に対し、ファビウスGSの点検・修理時には電源スイッチの作動状態についても点検するよう指示させていただきました。

なお、当該器につきましては、電源スイッチの交換修理をさせていただいた上で、正常作動を確認させていただいております。

以上、ご報告させていただきます。

弊社製品の品質及びサービス体制に対し、よりご満足いただけるよう全社をあげて取り組んでいく所存でおりますので、今後とも弊社製品等に対するご忌憚のないご意見等を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。